

沖縄諸島渡名喜島未記録のハムシ類

重藤裕彬

〒900-0001 那覇市港町2-11-1 那覇植物防疫事務所

New Distribution Records of Chrysomelid Beetles (Coleoptera, Chrysomelidae) from Tonaki-jima Is., the Okinawa Isls., Central Ryukyus, Southwestern Japan

Hiroaki Shigetoh

Summary. New distribution records of Chrysomelid beetles on Tonaki-jima Is. in the Okinawa Isls., central Ryukyus, southwestern Japan are reported. In total 21 species in six subfamilies are collected in Tonaki-jima Is., 19 of which are new to the fauna of the island: 1) *Physosmaragdina nigrifrons*, 2) *Cryptocephalus peretegans*, 3) *Diachus auratus*, 4) *Acrothinium gaschkevitchii okinawense* 5) *Abirus fortune*, 6) *Basilepta hirayamai*, 7) *Colasposoma auripenne*, 8) *Chalcolampra octodecimguttata*, 9) *Aulacophora indica*, 10) *Aulacophora lewisii*, 11) *Aulacophora bicolor*, 12) *Morphosphaera coerulea*, 13) *Phyllotreta striolata*, 14) *Aphthona albescens*, 15) *Sphaeroderma quadrimaculatum*, 16) *Argopistes cocciformis*, 17) *Lacoptera nepalensis*, 18) *Cassida circumdata*, and 19) *Thlaspida cribrosa*. Many of these species inhabits in Okinawa Isls., suggesting a similarity between the two islands in Chrysomelid fauna.

沖縄諸島に属する渡名喜島(沖縄県島尻郡渡名喜村)は、沖縄島の西方約58kmに位置する面積3.56km²の小島である(Fig.1)。植生は沖縄島と比較して移入種率が低いとされている(新納, 1967)。丘陵地においては過去にほぼ全域にわたり火入れや開墾がなされたため、ほとんどが二次林や代償植生となっている(沖縄県, 1997)。また、島の低地部では集落や耕作地が広がっており(Fig.2)、畑ではリュウキュウガネブ、モチキビ、サツマイモ、オクラ、カボチャ、マクワウリおよびニガウリなど、多種多様な作物の栽培が行われている。渡名喜島の昆虫相調査はあまり進んでおらず、まとまった記録は水生昆虫(青柳, 2013)やコガネムシ類の記録(井上, 2013)があるばかりである。同島におけるハムシ類の分布の記録はオキナクビナガハムシおよびサツマイモヒサゴトビハムシの2種のみであり(小浜, 2013; 小濱, 2018)、ハムシ相の解明度は低い。渡名喜島は沖縄島に比べ面積が小さく、沖縄島ほどの種数は望めないが、シマグワ、ノアサガオおよびイヌビワなど沖縄島で普通にみられる共通する植物も生えており、沖縄島とある程度類似したハムシ相であることが予想される。

今回、筆者が渡名喜島において2017年の4月下旬、2018年の8月中旬および9月上旬に野外調査を行なったところ6亜科、21種のハムシ類が得られ、そのうち5亜科19種が同島未記録であったため、ここに報告する。なお、今回の調査で得られたハムシ類のうち17種は沖縄島との共通種であり、両島におけるハムシ相の類似性が示唆された。本報告で使用した標本は重藤が保管している。

また、本稿を草するにあたり、調査に同行していただいた山梨県の中村隆太郎、東京農業大学昆虫学研究室の牧柚希の各氏および(国研)農研機構九州沖縄農業研究センター(糸満駐在)の吉武啓博士、加えて、快く畑を見させていただいた渡名喜村の方々に厚くお礼申し上げます。

ハムシ科 Chrysomelidae Latreille, 1802

ツツハムシ亜科 Cryptocephalinae Gyllenhal, 1813

1. クロオビツツハムシ *Physosmaragdina nigrifrons* (Hope, 1843)

1 ex., 東海岸, 19. IV. 2017, 牧採集.

渡名喜島初記録. 琉球列島における本種の分布記録は少なく、これまで、慶留間島、久場島、阿嘉島、石垣島の4島からのみ知られていた。

2. キボシツツハムシ *Cryptocephalus perelegans* Baly, 1873

6 exs., 渡名喜村集落, 20. IV. 2017, 重藤採集; 1 ex., 渡名喜村, 21. IV. 2017, 重藤採集.

渡名喜島初記録. 本州から与那国島まで広範囲に分布している。琉球列島の島々において鞘翅の斑紋の色彩変異が大きく、研究者によっては、亜種や変異として扱われている(Chūjō, 1935; Kimoto, 1974)。

3. ヒロヒゲツツハムシ *Diachus auratus* (Fabricius, 1801)

1 ex., 渡名喜村集落, 19. IV. 2017, 重藤採集.



Figs. 1–4. Tonaki-jima Is. –1, A view of the east side from car ferry; 2, Tonaki-son shūroku and cultivated land; 3, Mt. Ufunda; 4, Shrubs and grassland area of the northeast of the island. Fig. 5. *A. bicolor* that hurt leaf of okra. Fig. 6. *L. nepalensis* that hurt leaf of sweet potato.

渡名喜島初記録。北米原産の種で、日本における分布記録は少なく、1995年に沖縄県那覇空港の敷地内で発見されて以降（平野，1995），日本では沖縄本島と宮古島から記録されていた。本種はバナアツでは豆類の害虫とされているが，我が国においてギンネムを寄主植物とし，今回の調査においても渡名喜村周辺のギンネムから得られた。今回の報告は，本種の分布域の拡大を示唆しており，

周辺の島々においても調査が必要である。

サルハムシ亜科 Eumolpinae Hope, 1840

4. アカガネサルハムシ沖縄亜種 *Acrothinius gashkevitchii okinawense* Nakane, 1985

渡名喜島初記録。これまで本亜種は沖縄島からのみ記録されており，今回の報告は2島目の記録

となる。本土部ではアカガネサルハムシ基亜種がブドウの害虫として扱われているが、沖縄亜種も同様に畑で栽培されているリュウキュウガネブを加害していた。

5. ツツサルハムシ *Abirus fortunei* (Baly, 1861)

1 ex., 大岳山道, 19. IV. 2017; 5 exs., 渡名喜村, 20. IV. 2017, 重藤採集.

渡名喜島初記録. 沖永良部島以南の南西諸島に分布しており, クワの害虫としても扱われている(東, 1981). 林縁部などのシマグワから得られた.

6. ニセウスイロサルハムシ *Basilepta hirayamai* Chûjô, 1935

2 exs., 大本田, 1. IX. 2018, 重藤・吉武採集.

渡名喜島初記録. 琉球列島に広く分布している. 今回の調査では2個体ともシマグワから得られた.

7. オキナワイモサルハムシ *Colasposoma viridicoeruleum* Motschulsky, 1860

1 ex., 大岳山道, 19. IV. 2017; 2 exs., 渡名喜村集落, 20. IV. 2017; 2 exs., 21. IV. 2017; 12 exs., 17. VIII. 2018, 重藤採集; 16 exs., 1. IX. 2018, 重藤・吉武採集.

渡名喜島初記録. トカラ列島から与那国島まで南西諸島に広く分布している. 本種の寄主植物はヒルガオ科植物で, サツマイモの害虫としても扱われており(小濱, 2010), 今回の調査においても林縁のノアサガオおよび畑のサツマイモの葉上から得られた.

ハムシ亜科 *Chrysomelinae* Latreille, 1802

8. ハマゴウハムシ *Chalcolampra octodecimguttata* (Fabricius, 1775)

10 exs., 東海岸, 19. IV. 2017; 1 ex., 東海岸, 21. IV. 2017; 8 exs., 東海岸, 17. VIII. 2018, 重藤採集.

渡名喜島初記録. 南西諸島ではトカラ列島から西表島まで広く分布しており, 近年では, 千葉県などでも発見されている(亀澤, 2015). 東側海岸沿いに密生しているハマゴウから得られた.

ヒゲナガハムシ亜科 *Galerucinae* Latreille, 1802

9. ウリハムシ *Aulacophora indica* (Gmelin, 1790)

1 ex., 渡名喜村集落, 20. IV. 2017; 4 exs., 17. VIII. 2018; 3 exs., 1. IX. 2018, 重藤採集.

渡名喜島初記録.

10. ヒメクロウリハムシ *Aulacophora lewisii* Baly, 1866
1 ex., 渡名喜村集落, 19. IV. 2017; 1 ex., 17. VIII. 2018; 2 ex., 1. IX. 2018, 重藤採集.

渡名喜島初記録.

11. フタイロウリハムシ *Aulacophora bicolor* (Weber, 1801)

7 exs., 大岳山道, 19. IV. 2017; 4 exs., 渡名喜村集落, 20. IV. 2017; 5 exs., 渡名喜村集落, 21. IV. 2017; 5 exs., 渡名喜島集落, 17. VIII. 2018; 1 ex., 大岳山道, 1. IX. 2018, 重藤採集; 43 exs., 渡名喜村集落, 1. IX. 2018, 重藤・吉武採集.

渡名喜島初記録. 奄美大島から与那国島まで広く分布する. 本種はウリ類の害虫としても知られているが, 渡名喜島集落内の畑において, ウリ科作物と比べオクラへの加害が深刻であった(Fig.3).

12. オキナワイチモンジハムシ *Morphosphaera coerulea* (Schönfeldt, 1890)

10 exs., 大岳山道, 19. IV. 2017; 3 exs., 渡名喜村集落, 20. IV. 2017; 1 ex., 渡名喜村集落, 重藤採集.

渡名喜島初記録. 本来, 屋久島から南西諸島まで広く分布しており, 近年, 千葉県からも発見された(宮内ら, 2014). イヌビワにて成虫と幼虫が多くみられた.

13. キスジノミハムシ *Phyllotreta striolata* (Fabricius, 1803)

17 exs., 渡名喜村集落, 20. IV. 2017, 重藤採集.

渡名喜島初記録. 本種はダイコンやキャベツなどのアブラナ科植物の害虫として扱われている(日本応用動物昆虫学会, 2006).

14. オキナワアシナガトビハムシ *Aphthona albescens* (Motschulsky, 1866)

1 ex., 大岳山道, 19. IV. 2017, 重藤採集.

渡名喜島初記録. 日本, 中国, 台湾, カンボジア, ベトナム, タイ, インドネシアおよびミャンマーに分布している. 我が国においては沖縄本島, 慶良間諸島, 宮古島, 石垣島および西表島から記録されている. Takizawa (2011) では, *Aphthona ihai* Chûjô, 1958 を *Aphthona opaca* Allard, 1889 のシノニムとしているが, Medvedev (2006) では *A. opaca* は *A. albescens* のシノニムとされているため, 本報告では本種の学名を *A. albescens* とする.

15. ヨツモンタマノミハムシ *Sphaeroderma quadrimaculatum* Chûjô, 1935

3 exs., 大岳山道, 19. IV. 2017; 11 exs., 大本田, 17. VIII. 2018; 8 exs., 大岳山道, 1. IX. 2018, 重藤採集.
渡名喜島初記録. 九州から西表島にかけて分布する. 山道林縁において多数がみられた.

16. ヘリグロテントウノミハムシ *Argopistes coccinelliformis* Csiki, 1940

1 ex., 大岳山道, 17. VIII. 2018; 6 exs., 大岳山道, 1. IX. 2018, 重藤採集.

渡名喜島初記録. これまで, 沖縄諸島においては沖縄島および瀬長島からのみ知られていた. 今回の報告は同諸島3島目の記録となる.

カメノコハムシ亜科 *Cassidinae* Gyllenhal, 1813

17. ヨツモンカメノコハムシ *Laccolptera nepalensis* Boheman, 1855

16 exs., 大岳山道, 19. IV. 2017; 8 exs., 渡名喜村集落, 20. IV. 2017; 1 ex., 渡名喜村集落, 21. IV. 2017; 2 exs., 渡名喜島集落, 17. VIII. 2018; 2 exs., 大岳山道, 1. IX. 2018, 重藤採集; 11 exs., 渡名喜村集落, 1. IX. 2018, 重藤・吉武採集.

渡名喜島初記録. 日本では沖縄以南に分布していたが, 近年生息域を拡大しており, 現在では東京都から八重山諸島まで広く分布している (今坂・海老原, 1997; 山元, 2000; 今坂・祝, 2007; 久保田, 2008; 酒井ら, 2008; 山瀬, 2011; 竹内ら, 2012; 佐野, 2014; 越智・吉富, 2016; 雛倉, 2018; 小浜, 2018; 重藤, 2017; 重藤・嶋本, 2018; Suenaga *et al.*, 2018). ヒルガオ科植物を寄主としており, サツマイモの害虫としても扱われている (小川, 2003; 小濱, 2010). 今回得られた個体はサツマイモや浜周辺のグンバイヒルガオや山道沿いのヒルガオ科植物から得られた (Fig.4).

18. タテスジヒメジंगाサハムシ *Cassida circumdata* Herbst, 1799

2 exs., 大岳山道, 19. IV. 2017; 3 exs., 渡名喜村集落, 20. IV. 2017; 1 ex., 渡名喜村集落, 21. IV. 2017; 1 ex., 渡名喜島集落, 17. VIII. 2018, 重藤採集; 5 exs., 渡名喜島集落, 1. IX. 2018, 重藤・吉武採集.

渡名喜島初記録. 八丈島, 南西諸島の多くの島々, 東南アジアなど広く分布している. ヒルガオ科植物を寄主植物とし, サツマイモの害虫としても扱われている (小濱, 2010). 道路脇のノアサガオおよび畑のサツマイモの葉上でよくみられた.

19. イチモンジカメノコハムシ *Thlaspidia cribrosa* (Boheman, 1855)

1 ex., 大岳山道, 19. IV. 2017; 4 exs., 渡名喜村集落, 20. IV. 2017, 重藤採集.

渡名喜島初記録. 日本および韓国, 中国, 台湾, ラオス, インドと世界中に広く分布しており, 日本では本州から南西諸島まで分布している. 幼虫, 蛹, 成虫の3形態が同じ植物上でみられた.

引用文献

- 青柳 亮, 2013. 渡名喜島の水生昆虫 (トンボ・カメムシ・コウチュウ). 琉球の昆虫, (37): 24-30.
東 清二・金城政勝, 1981. 沖縄におけるクワ害虫と桑園の昆虫群集. 沖縄農業 17 (1・2): 7-15.
Chūjō, M., 1935. Chrysomelidae of Loo-Choo Archipelago (I). Trans. Nat. Hist. Soc. Formosa, 25: 69-89.
雛倉正人, 2018. 東京都町田市でヨツモンカメノコハムシを採集. 月刊むし, (571): 50-51.
今坂正一・海老原円, 1997. 奄美大島で採集した昆虫類. Korasana, (64): 1-41.
今坂正一・祝 輝男, 2007. 喜界島で2007年に採集した甲虫. Satsuma, (137): 119-129.
井上暁生, 2013. 久米島および渡名喜島のケブカコフキコガネについて. 鯉角通信, 26: 16-17.
亀澤 洋, 2015. 千葉県房総半島南部で発生しているハマゴウハムシ. 月刊むし, (533): 52-54.
久保田義則, 2008. 屋久島におけるヨツモンカメノコハムシの採集と生息状況調査. Satsuma, (140): 243-246.
小濱継雄, 2010. 沖縄県におけるサツマイモの食葉性害虫. 沖縄県農業研究センター研究報告, 4: 27-31.
小濱継雄, 2013. オキナワクビナガハムシの久米島と渡名喜島からの記録と新食草の記録. Pulex, (92): 614-615.
小濱継雄・砂川博秋, 2018. 宮古島のヨツモンカメノコハムシの記録. さやばねニューシリーズ, (30): 45.
Kimoto, S., 1974. On some infraspecific variation of chrysomelid beetles (Coleoptera) occurring in the Ryukyu Archipelago. Kontyū, Tokyo, 42: 270-282.
Medvedev, L. N., 2006. To the knowledge of Chrysomelidae (Coleoptera) described by V. Motschulsky. Russian Entomological Journal, 15: 409-417.
宮内博至・金子美織・斉藤明子, 2014. 千葉県南部におけるオキナワイチモンジハムシの記録. 月刊むし, (520): 40-43.
日本応用動物昆虫学会, 2006. 農林有害動物・昆虫名鑑 (増幅改訂版). 387 pp. 東京.
新納義馬, 1967. 渡名喜島の植生. 沖縄生物学会誌, 4: 1-15.
小川泰弘, 2003. 長崎県におけるヨツモンカメノコハムシの侵入とサツマイモへの加害. 今月の農業, (47): 26-30.
沖縄県, 1997. 渡名喜県立自然公園指定書. 18 pp. 那覇.
越智あずさ・吉富博之, 2016. 四国に分布拡大したヨツモンカメノコハムシ. さやばねニューシリーズ, (21): 53-56.
酒井孝明・倉田章久・石川 均, 2008. 本州に侵入したヨツモンカメノコハムシ. 月刊むし, (451): 15-16.
佐野信雄, 2014. 四国南西部におけるヨツモンカメノコハムシについて. ヘリぐる, (35): 59-63.
瀬島翔馬, 2011. 福岡市におけるヨツモンカメノコハムシの記録. Pulex, 日本昆虫学会九州支部会報, (90): 576-577.
重藤裕彬, 2017. ヨツモンカメノコハムシの分布北限記録の更新. さやばねニューシリーズ, (28): 27-28.
重藤裕彬・嶋本習介, 2018. 和歌山県からのヨツモンカメノコハムシの記録. 月刊むし, (570): 57-58.

Suenaga, H., H. Shigetoh & H. Yoshitake, 2018. Distribution records of leaf beetles (Coleoptera, Chrysomelidae) from Tokunoshima Is., the Amami Is., central Ryukyus, southwestern Japan (I). *Elytra*, Tokyo, New Series, 8: 103–113.

Takizawa, H., 2011. Description of a new *Aphthona* species from Japan (Coleoptera, Chrysomelidae, Alticinae). *Elytra*, Tokyo, New Series, 1: 321–326.

屋富祖昌子・金城政勝・林 正美・小濱継雄・佐々木健志・木村正明・河村 太, 2002. 琉球列島産昆虫目録 増幅改訂版. 沖縄生物学会, 261–269.

山元宣征, 2000. ヨツモンカメノコハムシの長崎県からの記録. 月刊むし, (356): 45–46.

(2018年12月20日受領, 2019年2月10日受理)

【短報】ヤツクシヒゲヒラタコメツキの追加記録

ヤツクシヒゲヒラタコメツキ *Orithales serraticornis yatsuensis* Kishii, 1966 は長野県八ヶ岳で採集された1雌に基づいて新種として記載された種であるが、現在では旧大陸に分布する種の亜種として扱われている。種小名が示すとおり雄の触角は第4節から鋭い鋸歯状をしており他種との区別は容易である。本亜種は、原記載では八ヶ岳の2,800 m地点で採集されたと記されているが、八ヶ岳(連峰)は周知のとおり、特定の一峰を指す名前ではなく、山梨県と長野県に跨る山々(連峰)の総称で、標高が2,800 mを超える峰は赤岳(標高2,899 m)、阿弥陀岳(標高2,805 m)、横岳(標高2,829 m)の3つあるが、実際のところどこで採集されたかは不明である。これまで長野県八ヶ岳(Kishii, 1966)、山梨県鳳凰山(Kishii, 1989; 岸井, 1989)、岐阜県朝日村御岳山麓(大平・豊嶋, 2005)から分布が知られているが、いずれの地でも個体数は少なく、八ヶ岳連峰での再報はないようである。筆者は八ヶ岳連峰と御岳山(長野県側)で採集された標本を検しているの、新産地として報告する。

調査標本. [長野県佐久穂町麦草峠, 標高2,100–2,120 m] 1♀, 5. VII. 2001, 石川豊採集; 1♀, 15. VII. 2001, 石川豊採集; 1♀, 9. VII. 2002, 石川豊採集; 1♀, 20. VII. 2002, 石川豊採集; 1♀, 7. VII. 2004, 石川豊採集; 1♂, 12. VII. 2008, 1♂, 17. VII. 2008, 石川豊採集; 1♂, 14. VII. 2012, 有本久之採集; 1♂, 30. VI. 2018, 石澤尚史採集.

[長野県佐久市大河原峠, 標高2,093–2,100 m] 2♂♂, 30. VI. 2018. 有本久之採集(図1); 1♀, 14. VII. 2018, 塩崎明生採集(図2). [長野県王滝村御岳山, 田の原, 標高2,180 m] 1♀, 23. VII. 2011, 伊藤主計採集; 2♀♀, 10. VII. 2012, 森康貴採集.

末筆であるが、貴重な標本を検する機会を与えて頂いた石川豊, 石澤尚史, 伊藤主計, 塩崎明生, 森康貴の各氏にお礼申し上げる。

引用文献

Kishii, T., 1966. Some new forms of Elateridae in Japan (IV). *Bull. Heian High School, Kyoto*, (10): 1–11, 2 pls.

Kishii, T., 1989. Elaterid-beetles from Mt. Houwau-zan and Gozaishi-kōsen Spa in Yamanashi Prefecture, collected by Mr. Koichi Hosoda in 1987 and 1988 (Coleoptera: Elateridae) "Notes on Elateridae from Japan and its adjacent Area (8)". *Bull. Heian High School, Kyoto*, (33): 1–19, 4 pls.

岸井 尚, 1989. 南アルプス鳳凰山のコメツキムシ. 月刊むし, (219): 39–40.

大平仁夫・豊嶋健太郎, 2005. ヤツクシヒゲヒラタコメツキ岐阜県に分布. 甲虫ニュース, 151: 18.



図1. ヤツクシヒゲヒラタコメツキ♂.



図2. ヤツクシヒゲヒラタコメツキ♀.

(有本久之 558-0052 大阪市住吉区帝塚山西3-4-21)